# XI 学部の点検評価および改善のためのシステム

## 1 茨城大学教育学部点検・評価委員会内規

(平成 27 年 11 月 18 日内規第 35 号)

改正　平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号　平成 27 年 3 月 26 日規則第 31 号
平成 27 年 11 月 18 日規則第 111 号　平成 28 年 3 月 19 日内規第 82 号
平成 29 年 2 月 15 日内規第 2 号

(趣旨)

第 1 条　この内規は、茨城大学教育学部教授会細則(平成 27 年細則第 39 号)第 7 条第 2 項の規定に基づき、茨城大学教育学部点検・評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営等に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第 2 条　委員会は、次に掲げる事項を審議する。

(1)　学部(野)の中期目標・計画及び年度計画の作成への参与とその点検・評価資料等の作成に関する事項

(2)　各委員会及び教室・教員の活動の調査及び点検・評価に関する事項

(3)　学部において点検評価すべき事項等の検討と作業の実施に関する事項

(4)　人事評価の方法に関する事項

(5)　教員の教育、研究、地域貢献活動、学部運営業務等の調査及び点検・評価に関する事項

(6)　その他学部における点検・評価に関する事項

(組織)

第 3 条　委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

(1)　企画運営会議の審議を経て学部長が教授会に推薦し、教授会において信任投票で承認された者　1 人

(2)　別表に掲げるブロックから推薦された者　各 2 人

2　前項各号に掲げる委員は、学部長が委嘱する。

(任期)

第 4 条　前条第 1 項に掲げる委員の任期は、2 年以内とし、再任を妨げない。

2　欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条　委員会に委員長及び副委員長を置く。

2　委員長は、第 3 条第 1 項第 1 号の委員をもって充てる。

3　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4　副委員長は、委員の互選により定める。

5　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

（会議）

第 6 条　委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2　委員会において議決を要する事項については、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第 7 条　委員会において必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（小委員会）

第 8 条　委員会に、必要に応じ小委員会を置くことができる。

2　小委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（庶務）

第 9 条　委員会の庶務は、教育学部事務部において処理する。

附　則

1　この規則は、平成 3 年 12 月 11 日から施行する。

2　この規則施行後、最初に委嘱される委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、半数の者については平成 5 年 3 月 31 日までとし、他の半数の者については平成 6 年 3 月 31 日までとする。

附　則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この規則は、平成 18 年 9 月 20 日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

附　則（平成 22 年 12 月 21 日規則第 100 号）

平成 22 年 12 月 21 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

附　則（平成 27 年 3 月 26 日規則第 31 号）

この規則は、国立大学法人茨城大学における学校教育法及び国立大学法人法等の一部改正に伴う学内規則等の整備に関する規則（平成 27 年規則第 31 号）の施行の日（平成 27 年 4 月 1 日）から施行する。

附　則（平成 27 年 11 月 18 日規則第 111 号）

この規則は、茨城大学教育学部及び大学院教育学研究科における規則等の体系化並びに名称変更に伴う規則等の整備に関する規則(平成 27 年規則第 111 号)の施行の日(平成 27 年 11 月 18 日)から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

附　則(平成 28 年 3 月 19 日内規第 82 号)

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

附　則(平成 29 年 2 月 15 日内規第 2 号)

この内規は、平成 29 年 4 月 1 日から実施する。

別表(第 3 条関係)

| ブロック | 教室等名 |
|---|---|
| 第 1 ブロック | 国語教育、社会科教育、英語教育、学校教育、障害児教育、教育保健、大学院教育学研究科教育実践高度化専攻 |
| 第 2 ブロック | 音楽教育、美術教育、技術教育、家政教育、情報文化、全学教職センター |
| 第 3 ブロック | 数学教育、理科教育、保健体育、人間環境教育、大学院教育学研究科学校臨床心理専攻 |

## 2 平成 29 年度年報データ入力の依頼

平成 29 年 7 月 4 日

教育学部教員の皆様へ

点検評価委員長　梅津健一郎

**「茨城大学研究者情報管理システム」データ入力について（依頼）**

点検評価委員会では，例年通り**平成 28 年度年報**の作成作業を行います．学期末の終わり大変お忙しいとは存じますが，平成 28 年度

**平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで**

の教育研究業績や活動内容等について「茨城大学研究者情報管理システム」

https://info-e.ibaraki.ac.jp/scripts/update/index.htm

への入力に遺漏がないかご確認いただき，確定していただきますようお願い申し上げます．同システムへの入力・確認を

**【締切】平成 29 年 7 月 28 日（金）**

までにお済ませくださるようお願いいたします．

「茨城大学研究者情報管理システム」への入力方法等についての問い合わせ先：
梅津健一郎 kenichiro.umezu.math@vc.ibaraki.ac.jp

3 授業評価の実施

平成 29 年度（2017 年度）授業アンケートおよび自己点検評価の実施は以下のとおりである。

(1) 授業アンケートの実施要旨

(1-a) 授業アンケート実施 3 科目選定の依頼

平成 29 年 6 月 1 日

教育学部教員各位

点検・評価委員会委員長　梅津健一郎

平成 29 年度教育改善評価（授業アンケート）3 科目指定のお願い

教育学部では、指定 3 科目（学部専門前期 1 科目・後期 1 科目，および教養科目 1 科目）を対象に，授業アンケート調査を行い，その結果を参照して「自己点検評価書」を作成することで，教育改善点検評価を実施しています。
大変お忙しいとは存じますが，今年度もご協力をお願いいたします。

(1) 下記回答フォームに，時間割コード（シラバスコード），科目名（授業題目）を記入して，このメールに返信下さい。
(2) アンケート 回答用紙配布のため，受講人数を把握する必要があるので，複数の時間割コードがある授業については、漏れなく記入してください。
(3) アンケート実施日時は，原則として授業最終回か定期試験期間中に行います。

締め切り 6 月 23 日（金）

回答フォーム
---
１．前期専門科目
時間割コード：
科目名：

２．後期専門科目
時間割コード：
科目名：

３．教養科目
シラバスコード：
授業題目：
---
教育学部教員各位

## (1-b) 授業アンケート実施依頼

平成 29 年 7 月 3 日

教育学部教員各位

教育学部　点検･評価委員会

**平成29年度前期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）**

平成29年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、 学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、先日確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、前期の教育学部専門科目（授業）について実施します。

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

**【実施時期】**

**原則として授業最終回か定期試験期間中（8月2日（水）～8月8日（火））に行ってください。**

**【実施授業】**

**封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。**

**※　違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。**

**【実施方法】**

1. **封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。**
   **複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。**
2. **回答用紙を受講生に配付してください。**
3. **学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。**
4. **お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。**

**※教員は，学生のアンケートに回答中は，教室外に退席するようお願いします。**

なお、以下についても学生にお伝え願います。

・ アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。

・ この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。

よろしくお願いいたします。

平成 29 年 12 月 11 日

教育学部教員各位

教育学部　点検・評価委員会

平成29年度後期・学生授業アンケート調査の実施について（お願い）

平成29年度年度計画に基づき、学生による授業アンケート調査を行います。本調査の目的は、 学部としての教育効果の向上および教員の授業・教育活動の改善にあります。

本調査は、先日確認した「指定3科目（前期1科目・後期1科目・教養1科目）」のうち、後期の教育学部専門科目（授業）について実施します。

本調査の集計・分析ができ次第、担当教員にその結果を報告します。その報告をふまえて「自己点検評価」をしていただきます。

【実施時期】

原則として授業最終回か定期試験期間中（2月5日（月）～2月14日（水））に行ってください。

【実施授業】

封筒表シールの実施科目名と、指定3科目（授業）と一致しているかご確認ください。

※　違っている場合はお手数ですが、訂正して実施してください。

【実施方法】

1. 封筒表シールの「時間割コード、授業科目名、教員名」を板書してください。
   複数のコードがある場合は、処理の都合上最初のものに統一をお願いいたします。
2. 回答用紙を受講生に配付してください。
3. 学生の代表者を決め、回答用紙回収及び教育学部学務係に届けることを依頼してください。
4. お願い文を読ませた上で、アンケートを実施してください。その際記入の注意事項を確認して下さい。

※教員は，学生のアンケートに回答中は，教室外に退席するようお願いします。

なお、以下についても学生にお伝え願います。

・アンケートを書き終わらなかった人は個別に学務係に提出することができます。
・この時間に休んだ人は学務係から回答用紙を受け取って記載し、学務係に提出できます。よろしくお願いいたします。

## (1-c) 学部授業アンケート用紙

### 2017（H29）年度教育学部授業アンケート

授業科目名 ［　　］　時間割コード ［　　］

担当教員名 ［　　］

専門科目における教育活動を評価し改善するために授業のアンケート調査を行っています。このアンケートを有効な資料とするために、できるだけ率直で公正な回答をお願いします。このアンケートは皆さんの成績評価等には関係がありません。アンケートの結果は担当教員にフィードバックされ、授業改善の資料となります。

回答欄の ○ を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。［可：●、●／ 不可：⊗、⊘、◎、◉］

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 問１　この授業の初回で、授業計画（シラバス）や評価方法の説明がされましたか？ | | | | | |
| ① 十分された | ② ある程度された | ③ わからない | ④ あまりされなかった | ⑤ されなかった | |
| 問２　あなたはこの授業でとりあげた内容を理解できましたか？ | | | | | |
| ① 理解できた | ② おおむね理解できた | ③ どちらとも言えない | ④ あまり理解できなかった | ⑤ 理解できなかった | |
| 問３　教員の声の出し方、話し方は適切でしたか？ | | | | | |
| ① 適切だった | ② おおむね適切だった | ③ どちらとも言えない | ④ あまり適切でなかった | ⑤ 適切でなかった | |
| 問４　講義系科目はAの問に、実技・演習系科目はBの問に応えてください。<br>A：板書（プロジェクタ等を含む）や資料類は、見やすく適切でしたか？　B：実演や指示は適切でしたか？ | | | | | |
| ① 適切だった | ② おおむね適切だった | ③ どちらとも言えない | ④ あまり適切でなかった | ⑤ 適切でなかった | |
| 問５　この授業では学生の興味・関心を高める工夫・対応がありましたか？ | | | | | |
| ① あった | ② ややあった | ③ どちらとも言えない | ④ あまりなかった | ⑤ なかった | |
| 問６　この授業を受けて、あなたの知識・技能・教養は向上しましたか？ | | | | | |
| ① 向上した | ② おおむね向上した | ③ どちらとも言えない | ④ あまり向上しなかった | ⑤ 向上しなかった | |
| 問７　あなたは、この授業で扱った知識・技能を深めるために、授業時間以外に毎週どの程度時間をとりましたか？ | | | | | |
| ① ２時間以上 | ② １時間以上 | ③ 30 分以上 | ④ 30 分未満 | ⑤ ほとんどとらなかった | |
| 問８　あなたは、この授業を受講したあとで、どの程度満足しましたか？ | | | | | |
| ① 満足した | ② おおむね満足した | ③ どちらとも言えない | ④ やや不満であった | ⑤ 不満であった | |
| 問９　授業への積極的な参加や自発的な学修を促すように工夫されていましたか？ | | | | | |
| ① 非常に工夫されていた | ② よく工夫されていた | ③ 多少工夫されていた | ④ あまり工夫されていなかった | ⑤ 全く工夫されていなかった | |

問１０　この授業に関して気づいたことなどがあれば、自由に書いてください。

（コピーの形で授業担当者に示されますので、濃く丁寧に書いてください）

## (2) 平成 29 年度前期分の教育改善評価の実施依頼

平成 29 年 10 月 25 日

教育学部教員の皆様

教育学部点検評価委員会

**平成 29 年度前期分の教育改善評価の実施について**

点検評価委員会から次の 2 点についてお願いがございます.

1) 平成 28 年度年報原稿の確認，及び確認済みファイルのアップロード
今年度着任された先生を除く，全教員が対象です．本部のシステムの方で，皆様それぞれの H28 年度の年報データが確認できる状態となっております．本メールに添付したマニュアルに従い，ご対応よろしくお願いいたします.

2) 教育改善評価（平成 29 年度前期分）
こちらは全教員対象です．平成 29 年度前期に学生の授業アンケートを実施した科目について，添付のマニュアルの手順に従い，作業をお願いいたします．なお，複数でご担当されている授業に関しましては，代表の先生のみが御記入頂く，ということでかまいません．マニュアルの 7 ページ以降の作業は現段階では義務ではありません.

マニュアルは 1), 2) 統合版となっています.

お忙しいところ大変恐縮ですが，上記 1)， 2) の作業を 11 月 10 日（金）17:00 までにお願いいたしたいと存じます.

以上，何卒よろしくお願いいたします.

## 4 授業公開

# 平成２９年度前学期授業公開一覧

下記の授業を ７月７日（金）～ ２１日（金）の間、公開いたします。

注）７月１４日（金）は、月曜日の授業実施日です。

| 授業科目名 | 担当教員 | 曜日・講時 | 教室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 近現代文学研究Ⅰ | 宮崎 尚子 | 金・２ | Ｂ２０９ | |
| 初等国語科教育法（Ａ） | 昌子 佳広 | 月・３ | Ｂ２０３ | |
| 初等国語科教育法（Ｂ） | 鈴木 一史 | 月・３ | Ｂ２０４ | |
| 漢文学概論 | 増子 和男 | 月・２ | Ｂ２０９ | |
| 歴史地理学Ⅱ | 小野寺 淳 | 木・２ | Ａ５２６ | 7/13公開 |
| 算数科内容研究 | 松村 初 | 金・１ | Ｄ１０１ | |
| 確率統計概論 | 松村 初 | 金・５ | Ｂ２０３ | |
| 物理学概論 | 永尾 敬一 | 火・２ | Ｂ２０８ | 7/11のみ |
| 有機化学 | 松川 覚 | 金・２ | Ａ５３４ | |
| 無機物理化学 | 青島 政之 | 火・１ | Ｂ３１２ | |
| 生物学実験 | 棗田 孝晴 | 火４～５ | Ａ３２２ | |
| 地学概論 | 上栗 伸一 | 木・２ | Ａ３２２ | |
| 初等理科内容研究 | 矢島 裕介 | 水・１ | Ｄ１０２ | |
| 音楽史 | 神部 智 | 木・５ | Ｃ４３６ | |
| 絵画Ⅰ／平面表現演習Ⅱ | 片口 直樹 | 金・２ | Ｃ１１１ | 7/ 7・・・静物油彩画制作<br>7/21・・・合評会を実施 |
| 美術教育特別演習ＢⅠ | 向野 康江 | 木・２ | Ｃ１０４ | |
| 金属加工学 | 野崎 英明 | 金・３ | Ｃ２１８ | |
| 親子関係学 | 数井みゆき | 月・４ | Ｃ３０２ | 7/14休講 |
| 英語科教育法特講 | 齋藤 英敏 | 木・２ | Ａ５３６ | |
| 英語科教科論Ⅱ | 齋藤 英敏 | 木・４ | Ａ５２６ | |

| 授業科目名 | 担当教員 | 曜日・講時 | 教室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 英語コミュニケーションⅨ<br>（ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄとﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ） | 齋藤 英敏 | 金・２ | Ａ５３６ | |
| 知的障害児教育実践論 | 新井 英靖 | 火・１ | Ｂ２０７ | 7/18公開<br>※参観希望者は7/14の12:00<br>までに新井先生に連絡する |
| 学校保健概論 | 瀧澤 利行 | 金・５ | Ｂ３１２ | |
| 保健科教育法Ⅱ | 青柳 直子 | 金・１ | Ｂ２０９ | |
| 発達心理学 | 村野井 均 | 火・２ | Ａ４３３ | |
| 現代社会の人間関係 | 村野井 均 | 月・３ | Ｂ３０９ | |
| 教育の本質と理念 | 小川 哲哉 | 木・１ | Ｄ１０１ | |
| 学校教育相談 | 三輪 壽二 | 月・２ | Ｄ２０１ | |
| 人間教育の心理学 | 丸山 広人 | 木・１ | Ｄ２０１ | |
| 日本美術史Ⅰ | 小泉 晋弥 | 金・５ | 共通１０番 | |
| 陸上競技 | 上地 勝<br>渡邊 將司 | 木・２<br>木・４ | 陸上<br>グラウンド | |
| 体育科教育法研究 | 吉野 聡<br>日下 裕弘<br>渡邊 將司 | 火・３ | 屋外プール | |

下記の授業を 期間外 に公開いたします。

| 授業科目名 | 担当教員 | 曜日・講時 | 教室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 英語科教育法特講 | 齋藤 英敏 | 木・２ | Ａ５３６ | |
| 英語科教科論Ⅱ | 齋藤 英敏 | 木・４ | Ａ５２６ | |
| 英語コミュニケーションⅨ<br>（ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄとﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ） | 齋藤 英敏 | 金・２ | Ａ５３６ | |
| 学校教育相談 | 三輪 壽二 | 木・３ | Ｄ１０１ | |

# 平成２９年度後学期授業公開一覧

下記の授業を １２月　４日（月）～ １５日（金）の間、公開いたします。

| 授業科目名 | 担当教員 | 曜日・講時 | 教室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 国文学史・国文学概論 | 宮崎 尚子 | 水・１ | Ｄ１０２ | |
| 初等国語科教育法 | 鈴木 一史 | 月・３ | Ｂ２０４ | |
| 茨城の歴史と文化 | 小野寺 淳 | 金・２ | Ｂ２０８ | |
| 代数学Ｃ | 松村　初 | 火・５ | Ｂ２０４ | |
| 算数科内容研究 | 松村　初 | 水・２ | Ｂ２０３ | |
| 地質学 | 上栗 伸一 | 金・１ | Ａ５２８ | |
| 中等理科教育法 III | 宮本 直樹 | 金・２ | Ｂ２０５ | |
| 物理学実験 | 矢島 裕介 | 金・１～２ | Ａ３２２ | |
| 環境化学 | 松川　覚 | 火・１ | Ｂ２０８ | |
| 石膏デッサン | 片口 直樹 | 金・２ | Ｃ１０１ | |
| ダンス・身体表現 | 篠田 明音 | 火・２ | 小体育館 | |
| 運動学概論 | 勝本　真 | 金・１ | Ｂ２０９ | |
| 製図Ⅱ | 野崎 英明 | 金・２ | Ｃ２１８ | |
| 学校における子ども虐待の予防と防止 | 数井みゆき | 火・３ | Ｂ２０７ | |
| 肢体不自由児の教育方法 | 新井 英靖 | 月・２ | Ｂ２０４ | 資料を用意しますので、参観する場合には１２月６日までにご連絡ください。 |
| 養護活動と関連法規 | 瀧澤 利行 | 金・２～３ | Ｂ３１１ | |
| 保健科教育法Ⅲ | 青柳 直子 | 火・３ | Ｂ３１１ | |
| 教育の本質と理念 | 小川 哲哉 | 木・１ | Ｄ２０１ | |
| 教育の方法と技術 | 小林 祐紀 | 火・４ | Ｄ２０１ | ※１２月５日のみ |

## 5 FD の実施

別　　紙

教職員が参加した FD 一覧（平成２９年度分）

| 年月日 | 担当委員会等 | 題　　目 | 講演者 | 実施場所 | 参加人数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年 4 月 19 日 | 教育学部 | 財務会計システムに関する FD | 教育学部総務係員 三谷達也 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 89 名 |
| 平成 29 年 4 月 19 日 | 教育学部学生支援協議委員会 | 新規採用・最近年度採用者 FD | 教育学部教務委員長，学生支援委員長，入選研委員長，教育実習委員長，研究倫理委員長 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 26 名 |
| 平成 29 年 7 月 19 日 | 教育学部 ※全学教育機構 | 障害者差別解消法施行後の学生支援 FD | 全学教育機構（バリアフリー推進室）講師　矢嶋敬紘 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 78 名 |
| 平成 29 年 8 月 2 日 | 教育学部・全学教職センター（共催） | 教職課程再課程認定に関する FD | 学務部学務課　鯨井 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 85 名 |
| 平成 29 年 10 月 18 日 | 教育学部 | 教育学部の今後の方向性にかかわる FD | 教育学部長 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 88 名 |
| 平成 29 年 10 月 18 日 | 教育学部教務委員会 | 教職実践演習 FD | 教育学部教務委員長 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 37 名 |
| 平成 29 年 10 月 25 日 | 教育学部教科専門職大学院検討 WG | 教科の教職大学院に関する FD | 教育学部評議員・副学部長　小野寺淳 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 61 名 |
| 平成 29 年 12 月 6 日 | 教育学部教務委員会 | 大学入門ゼミ FD | 教育学部教務委員長 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 23 名 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成 30 年 1 月 17 日 | 教育学部 | 情報セキュリティポリシーに関する FD | 教育学部准教授 小林祐紀（部局技術責任者） | 教育学部プレゼンテーションルーム | 99 名 |
| 平成 30 年 3 月 2 日 | 教育学部 | 教採受験率・合格率向上に向けた学生支援に関する FD | 教育学研究科教授 坂場克身，就職相談員 日高唯志，全学教職センター教授 昌子佳広，全学教職センター准教授 五島浩一，全学教職センター長 小川哲哉 | 教育学部プレゼンテーションルーム | 78 名 |